

「更生保護女性の会」の読み聞かせ（10月24日）

今回はぞう組が聞きました。子どもたちは、おばちゃんの手にしている大型絵本を目にしたとたん「あっ！」「知ってる！」と目をパチクリしながら反応しました。「知っている」ことは興味の低下につながるかと言えば



逆のようでした。本はビ

ッグサイズで読み手も違えば、子どもにとっては新鮮さと知っているという得意げな気分が重なって、興味が倍増するかのようにお話に食いついていました



地域に響け！そうさんの和太鼓



陽光園祭（26日）に招かれるのは、コロナという感染症の影響から久しぶり（6年ぶり？）と聞いています。事前に野村副園長と担任坂口から、「陽光園には自分で歩けなくて車イスで移動する人も、車イスにも自分では乗れなくて乗せてもらわないと移動できない人など、身体の不自由な人たちが施設の人の助けを借りながら生活しているところです。その人たちが、みんなの太鼓を楽しみにしているんだよ。」という内容の話をして、この日を迎えています。ご家庭においても、陽光園について話題にされているかもしれません。子どもたちのおさない心には陽光園での出会いは初めての驚きだったことと思いますが、子どもの成長過程において尊い体験だったと考えています。



お知らせ 雨により26日（日）の資源回収は中止となりました。**今年度の資源回収は終わり**となります。ご理解ご対応をお願いします。

翌日（27日）には、恒例の片知ふれあいサロンで大勢の地元のおばちゃん、おじちゃんの前で演奏してきました。今年の子どもたちも、みなさんからいただいた温かい拍手に笑顔やお言葉だけでも十分にうれしいのですが、お土産まで手にした時には、「ありがとうございます！」の声が普段以上に弾んでいました。